

会議録（要点記録）

会議名称	令和3年度第1回小金井市精神保健福祉連絡協議会 部会		
開催日時	令和3年9月22日（水）14:00～15:40		
開催方法	ZOOMを使用し、オンラインで開催。		
出席者等	小椋委員、鈴木委員、佐々木委員、五味渕委員、杉山委員、藤原委員、事務局：相談支援係長、相談支援係主査		
傍聴の可否	不可	傍聴者数	0人
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) アンケート調査票について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回の全体会で各委員からアンケートの案について頂いた意見を入れ、修正したアンケートを市内病院に送付した。市内病院からは内容の修正についての意見は特になかった。 ・修正したアンケートについては、入院者数が多いとアンケート調査実施の負担があるため、できるだけ負担がないやり方がよい。病院によっては、対応職員によって回答内容に差異が出ることもある。 ・電子カルテの基本情報のフォーマット等で見てしまうと、他科受診等で転院した場合、転院前からの入院日を記載しにくいことがある。質問項目のわかりやすい記載が必要である。 ・病棟の受け入れ人数を縮小した近隣市の精神科病院で、長期入院者が市内病院へ転院したケースが相次いだ時期があり、その場合でも最初に精神科治療を受けた日の把握ができるとよい。 ・本人宛のアンケートで、問2と問3の「あてはまるもの全てに○」と「いくつでも○」の記載を統一したほうがよい。 ・質問項目の「・」を「①」とし、○をつける箇所を明確にしたほうがよい。 ・もう少し字を大きくした方がよい。 ・このアンケート後に個別の聞き取り等があるようなら、問2の「入院前と同じ生活」を具体的に記載する必要はないと思う。文章的にはこの程度のボリュームでよい。 		

・「地域生活に関するアンケート」のタイトルについては、「地域移行」「地域生活」というのは行政的なワード、支援者がよく使うワードのように思えるので、入院している方に伝わりやすい方がよいが、説明文に「病院以外の生活」と読めるので、このままで分かると思う。

- ・前回と見比べてみると、問2で「あなたの病気がよくなって退院した時」との記載があり、わかりやすくなっており、このアンケートでよいと思う。イラストで分かりやすくなった。

(2) 各事業所から情報共有・意見交換

・「地域移行」「退院促進」では、4～5名の方の支援をしていて、ご本人の状況によって、立ち消えになるケースもあった。退院に困難な方が対象になるが、若年で家族の支援が見込めないケース、金銭管理が困難でこれまで債務整理をしている方、妄想の行動化があり、遠方で警察介入後、遠方の精神科病院に入院しているケース、退院促進で支援に動き出したら、小金井市が支給決定の行政ではなかったケース等である。

・地域移行は、それぞれ経過があって退院が困難なケースなので、地域の皆さんと協力しながら支援していきたい。

・入院中のケースでも金銭管理を権利擁護センターで受けるが、入院中の場合は今後地域に戻ってくる方が対象になる。依存症、窃盗癖等の場合には、今後ニーズが増えてくると思われるが、金銭管理が困難である。

・ご本人が働きたいと希望されても、長期入院者は体力的にもすぐに就労が困難な方が多く、日中活動で通える訓練を経てからが多く、まずは日中活動の支援をしている。

・退院後の住む家を探してほしいという希望や、グループホームを探してほしいという希望がある。

・家庭にもサポートが必要な児童がいて、子どもの関係機関と連携を取り合う場合が多く、成人期の医療機関の情報はどうのようなどころがあるか。

・利用するサービス種別が複数になる場合には、できるだけ他の意

	<p>見等が入るように、同じ法人内で完結せず支援できるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点等について、今後一定の整理がついた段階でお伝えしたいと思う。 <p>(3) 次回の開催日について</p> <p>全体会：令和3年11月 4日（木）10時から</p> <p>部会：令和4年 1月19日（水）14時から（オンライン）</p> <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>3 閉会</p>
提出資料	次第